ひらめき光念ずば

2025年3月21日
第28号
西南中生徒指導部通信
文責　松浦

参考文献
「なでしこを世界一にした魔法の言葉」
児玉光雄

後から生まれてきた人のために。

四月、全ての人が例にもれず、一年生は二年生に、二年生は三年生に、そして卒業した三年生は、高校や職場の「一年生」になります。

一年生は、入学してきた時は、当然一年生ですから、**「自分より後から生まれてきた人」**はいませんでした。

二年生になれば、**「自分より後から生まれてきた人」**ができます。

三年生になると、**「自分より先に生まれてきた人」**が誰もいなくなり、後輩ばかりになります。

人というのは、「好む」「好まない」に関わらず、あなたがどこに行っても、一年経つごとに**「後から生まれてきた人」**が増えてきます。

高校でも職場でも、あなたがそういう立場になったとき、**「自分より後から生まれてきた人たちのために、自分は何ができるか」**…と考えるようになるのです。

そのような**「心のクセ(考えるクセ)」**を今のうちに付けておくことも、義務教育の最後である中学校というところの大事な役目かもしれません。

自分のことだけを考えて、周りのことは何も考えず、歳だけ重ねる人生を送っていると、**「自分はここまで、何ができるようになったんだろう」**…と気持ちが落ち込むことさえあります、

皆さんはどこに行こうが、一年ごとに**「自分より後から生まれてきた人」**が多くなるのは事実です。

だからこそ、**「精度を上げた当たり前」**を見せてあげたり、どんなことでも「がんばる姿」をしてみせたり、**「一生懸命はカッコいいんだ」**という姿を見せてあげたり…、たったそれだけでも、あなたが「後から生まれてきた人」のために大きく貢献しているのです。

生徒会やいろんな行事の実行委員の皆さんは、リーダーとして大変頑張ってくれています(他への貢献)。

リーダーもある意味同じで、

後から生まれてきた人のために、どんなことがやれるか。

自分の一生懸命な姿を見せ続ける…それだけでも素晴らしいリーダーです。

「人望(多くの人がその人に寄せる信頼)とは、**メンバーをぐいぐい引っ張っていく能力だけではなく、黙っていてもメンバーがついてきてくれる能力**」のことをいうのです。

生徒会執行部の皆さん、各部活動のキャプテンのように、集団を動かしていく立場になると、「うまくいかないんぁ」「指示を聞かず、動いてくれない」…なんてことはよくあることです。

リーダーになったのはいいが、そんな壁にぶつかって思い悩むこともあるでしょう。

そんな時こそ、**あなたなりの一生懸命を出し続ける。**

そんな自分の「心のクセづくり」をしてみましょう。

頑張る人にしか、壁は現れません。

そして、

「壁には必ずドアがある」ものなのです。

がんばれ
一年生！
がんばれ
2年生!!